



CONTENTS

- P1 5周年に考える「環境学習」
セミナーパークで野鳥観察 Vol.2
「緑のカーテンコンテスト」のお知らせ
- P2 こどもエコクラブ紹介、ミニ情報
環境学習推進センターからのお知らせ
エコっこスクール2010のご案内



5周年に考える「環境学習」

環境学習推進センターは、おかげさまで5年目に入りました。センターの役割は、私たちひとりひとりが環境問題を理解し、環境に配慮して行動するために必要な環境学習を推進すること。皆さまの力をお借りしながら、樂しく環境について学べる環境学習プログラムを実施しているほか、人材づくり、ネットワークづくりと様々な事業を行っています。



「環境学習」って？

「環境」という分野は多岐にわたり、奥が深いのですが、簡単に言えば、「人間の営み、自然の営み」そのものであり、それに関わってくるもの全てが「環境」です。人が生きるということは、地球環境へ負荷を与えるということであり、人の永い営みの結果、今、地球が悲鳴をあげています。

この一連の過程について学ぶことが、環境学習といえるのではないかでしょうか。



どのような悲鳴をあげているのか

どんな負荷がその原因となっているのか

その負荷を取り除く、軽減する方法は何か

「何をするのか」

そして、環境学習の最も重要なことは「何を学び、何を知ったのか」ではなく、「何をするのか」ではないでしょうか。

地球の実態を知り、その原因を探り、負荷を取り除く方法を「知った」ら、私たちがやるべきことは、その負荷を軽くするため「行動」すること。これは私たちひとりひとりがそれぞれの地域の中で日頃の暮らし方に責任を持つという本来あたりまえのことだと考えます。

また、このようなひとりひとりの行動と併行して、行政や企業が果たすべき行動、役割があります。

例えば、地球温暖化防止のための対策を考えたとき、私たちは、日々の暮らしの中でCO₂排出量削減のために生活改善、意識改善を行なうことはもとより、国にはそのための法規制などが、企業には新たな技術の開発などが求められます。

また、地球温暖化や、近年、発生頻度が増してきた黄砂などに代表されるように、国境を越えた環境問題は避けて通れない問題であり、従って地球規模での国際的な役割、対応も必須となります。

悲鳴をあげている地球を救うには、国、企業、私たちひとりひとりの手が必要！あたりまえのことを「行動」しよう！



セミナーパークで野鳥観察！ Vol. 2



5月のある日、「キツツキが巣を作っちゃるよ！」との報告あり。車が行き交う駐車場のすぐそばの低い木に、直径3センチの穴がぽっかり。家主さんはキツツキ科のコゲラ。横縞模様の小さなキツツキです。濁った声で「ギイ」と鳴きます。木の幹をちょこちょこと動き回り、昆虫やクモなどを食べます。木を叩くドラミングと鳴き声が分かるようになれば、公園など案外身近な所で見かけることができますよ。

巣穴の深さは15センチ位。ヒモを差し込んで測っていたら、コゲラが穴から飛び出して、「ギイ～」と鳴いて飛んでった。あら、いたの。ビックリさせてごめん。



山口県の取り組み

地球温暖化対策
～みんなで取り組もう！ストップ地球温暖化～

緑のカーテンコンテスト

山口県では今年度「緑のカーテンコンテスト」を開催し、ご家庭や職場で作られた「緑のカーテン」の写真を募集中！



しめきり
8/31
(火)

応募部門 家庭部門 事業所部門(大学、専門学校含む)
学校部門(県立高校除く)

表彰 応募者の中から、各部門の優秀作品を表彰(副賞進呈)
詳しくは「つくってみよう！緑のカーテン」のホームページをご覧ください。

http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/ondan/green_curtain/index.html



子どもエコクラブをご紹介！

山陽小野田市 高泊児童館

チャレンジザエコクラブ

会の紹介

昨年5月に誕生した1歳のひよっこクラブです。現在小学校低学年児童を中心に17名の会員とサポーター4名で活動をしています。サブ会員？中学生の参加もあります。

どんな活動をしていますか？

昨年は「地球にやさしいことって何ができるかな？」からスタートし、エコクイズ・リサイクル工作・緑のカーテンづくり・花や野菜の栽培・バケツ稻の栽培・収穫した米や野菜でおかゆづくりなどを体験しました。



今年の目標はなんですか？

初年度の体験を生かし、自分で考え自発的にチャレンジザエコをしよう。また、家庭や地域にエコ活動を発信していきたいです。



自然のめぐみをいただこう



ミニ
情報

霞か雲かand騒音



人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準として定められたものを「環境基準」といい、大気の汚染、水質の汚濁、土壤の汚染及び騒音に係る環境上の条件について、政府がこの基準を定めています。

5月から9月にかけて風が弱くて気温が高く晴れた日に発生しやすい光化学スモッグは、工場や自動車から出るガスなどが太陽の光に反応してできる光化学オキシダント(Ox)が大気中に高濃度でとどまる現象で、発生すると「目がチカチカする」、「のどが痛い」などの症状が起きるほか、頭痛や吐き気、息苦しいなどの症状が出るといわれています。

光化学オキシダントについて設定されている環境基準は「1時間値が0.06ppm以下であること」。今年5月21日には県内東部の測定局において光化学オキシダント濃度が基準値を超える2地区で今年初の情報が出されたようです。山口県では県内各地に35の測定局が設置されており、山口県環境保健センターのホームページで、大気環境の測定結果や注意報等の発令状況を見ることができます。「山口県の大気環境の状況」で検索。

ちなみに、騒音の環境基準は住宅地で45～60デシベル(dB)位に設定されています。掃除機の音は70dB、犬の鳴き声は90、電車は100。飛行機のエンジン近くは120dBだそうです。今年のふれあいフェスタの大声チャンピオンの大声は…139dBでした！！お静かにね。



環境学習推進センターからのお知らせ

環境学習教材の貸出、ご相談に応じます！

地域や学校、会社等での環境学習などに活用していただくために、環境に関する図書やビデオ等の教材を無料で貸し出しています。個人でもOK。現在、図書368冊、ビデオ・DVD等279本、紙芝居7話、環境啓発パネル12種類。その他、環境学習会で使える教材(プログラム)もありますのでご相談ください。

エコかるた
もあるよ！



いきいき環境塾スタンプラリー実施中！～平成23年3月まで

山口県立きらら浜自然観察公園、秋吉台エコ・ミュージアム、つのしま自然館及び環境学習推進センターで開催されるスタンプラリー対象講座を受けた方にスタンプカードを差し上げます。4つのスタンプが揃ったら、「いきいき環境塾修了生」の修了証と記念品を差し上げます！詳しくは各施設にお問い合わせください。



いきいき環境塾 エコっこスクール2010のご案内

詳しくはHPで！



今年度も小学生を対象に、県内の環境学習施設や企業と連携した環境学習講座を行います。自然観察や企業のエコな取り組みなどを見学するバスツアーもあり。楽しく学んで、みんなエコっこになろう！！

＜日 程＞ 宿泊型2回： 7月23日(金)～24日(土)

8月24日(火)～25日(水) いずれも、山口県セミナーパーク泊

体験型2回： 12月11日(土)、未定

山口県立きらら浜自然観察公園、積水ハウス(株)山口工場、秋吉台エコ・ミュージアム、豊田ホタルの里ミュージアム、やまぐち県酪乳業(株)など

＜編集後記＞ 後日、コゲラの巣穴から「ピュルル、ピュルル…」という鳴き声が聞こえてきました。(また覗いた私)歯医者さんが持ってるこんなんなった鏡が欲しい…子コゲラが見たい！…というわけで、静かに見守りましょうね。あ、私か。(さらに2週間後、巣立ちしたようです！しばらく、穴から顔を出して外の様子を伺っていました。かわいいお顔でした。) そうそう、昨年、大雨災害に遭われた防府のお宅の庭にカエルちゃんが帰ってきて産卵したらしい！！バンザーイ！！

発行元

(財)山口県ひとつづくり財団 県民学習部 環境学習推進センター

〒754-0893

山口市秋穂二島1062(山口県セミナーパーク内)

TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720

URL <http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>

